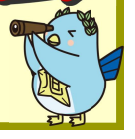


全道聾学校スポーツ交歓会 （札幌大会）へ出発！！



9月11日12日に札幌で開催される北海道聾学校スポーツ交歓会に参加するため、本校小学部5年生以上の児童生徒が札幌に向けて出発しました。目的地は札幌聾学校です。高等聾学校を除く全道の聾学校（旭川、室蘭、帯広、釧路、函館）の小5以上が札幌に集まり交流します。



旭川駅前から都市間バスに乗車する予定でしたが、高速道路への動物の侵入のためバスが出発できず若干足止めをされヒヤヒヤさせられました。そんなトラブルがありながらも定刻より10分遅れ程度でバスに乗車することができました。よかったです。

振り返りますと聾学校では、北海道聾学校体育大会という名前で、陸上競技を競い合う大会として、また、子どもたちの交流の場として、札幌、室蘭、帯広、旭川を順に会場とし、長く参集で行ってきました。しかし、過去10年では、台風や地震などの自然災害、そして新型コロナの影響を受け、参加できない年が増えたことと、聾学校の在籍数の減少や障がいの多様化・重度化のため、純粋に陸上競技を競い合うことができない状況が増えました。そのような理由で、陸上競技を競い合うのではなく、同じ聾学校で学ぶ子どもたちの「交歓会」という交流をメインにした子どもたちが楽しめる内容に変化してきたのです。

聾学校体育大会の時には、全道の同学年の子どもたちはお互いの名前を知っており、お互いを意識し、大会が終わった後でも心の交流を続けていた印象がありました。高等聾学校に入学して改めて出会ったときには、会えてうれしい仲間としてすぐに打ちとけ合い、絆が深まったエピソードをよく聞きました。しかし今回、本校の中3の生徒に話を聞くと、同学年の友達の名前は出てきませんでした。これらの取組が自然災害などで途切れてしまった影響を感じたと共に、オンラインでつながり合うことが容易になった時代であっても、やはりリアルに会ったり体験したりすることの大切さを改めて感じました。

中3男子には、「高等聾学校で一緒に学ぶ仲間を作ってきてね！」と送り出しました。中3女子は、落ち着いているように見えて、普段体験できない体験を目の前に、「すごくドキドキしている。」と話しておりましたので、「ドキドキしているようには見えないよ。仲間を作ってきてね。」と伝えました。そのほか、児童生徒はどんな経験をして何を土産話にしてくれるのでしょうか。楽しみです。

14:30からは、札幌聾学校体育館で交歓会を行い、夜もホテルで交流する場面があるようです。また、明日は4種目（ボッチャ、ストラックアウト、シッティングバレー、ナンバースタッチ）を楽しみます。

※「ナンバースタッチ」とは・・・iPadのアプリで点滅した数字を素早く全て押す時間を競う競技です。同じ学年の平均タイムで競い合うということでした。

札幌聾学校に集まった全道の児童生徒→



【ホテルでの交流の様子】

※自然発生的に発表がはじまり、交流ができたようです。



旭川聾学校の校歌を披露



ダンスを披露

【9月12日（金） スポーツ交歓会の様子：札幌聾学校体育館】



全員でラジオ体操



ナンバースタッチ



シッティングバレー



ストラックアウト



スクリーンで別会場のボッチャの様子を放映



控室の様子
(札幌技術室)